

令和 8 年（2026 年）3 月 27 日
企画振興部広報・共創推進課 池田、滝澤
電 話：026-235-7110（直通）
026-232-0111（代表）内線 2263
F A X：026-235-7026
E-mail：koho@pref.nagano.lg.jp

「県政ネタ帳」を活用した県政情報の発信強化

目的

市町村や関係団体等と県幹部職員が接触する際、所管外の重要施策についても旬の情報を「漏らさず・一貫して」共有・依頼できるようにするため、「県政ネタ帳」を整備し、組織的な働き掛けを強化する。

掲載対象の施策

市町村・関係団体等に対し、担当部局以外の県幹部職員（知事・副知事含む）からも併せて伝えてもらうことが効果的な事項

（例）依頼事項、謝礼の伝達、重要施策の周知 など

運用方法

広報戦略会議（部次長等）が中心となり、全庁的な視点で発信すべき項目を選定し、広報・共創推進課が取りまとめ、県幹部職員に共有する。

【共有事項】

- ・ 施策名
- ・ 対象者
- ・ 施策の内容
- ・ コメント（案）

更新頻度

毎月

開始時期

令和 8 年 3 月から運用開始

県政ネタ帳～2026.3～

■ 目次

- 主に市町村・団体向け
 - 「私のアクション！未来の NAGANO 創造県民会議」への参加について
 - みすずハイウェイの利用促進について
 - 公共交通キャッシュレス利用の促進について（交通系 IC カードほか）
 - 長野県 150 周年記念事業への連携促進（ロゴ利用、記念事業実施の働きかけ）
 - SOBA Tech NAGANO の開催について
 - 10 年後の農地の在り方を明確化する「地域計画」のブラッシュアップ及び実現に向けた取組について
 - 長野県農村生活マイスター認定申請者の推薦について
 - 農福連携の取組についての啓発
- 主に企業向け
 - 企業版ふるさと納税について
 - 「ガチなが」の PR
 - 県公式 LINE「事業者サポート」への受信設定について
 - 信州やまなみ国スポ・全障スポの募金・企業協賛の募集について
 - 松本平広域公園陸上競技場のネーミングライツパートナーの募集について
- 主に県民向け
 - 3 月は「自殺対策強化月間」
 - 春の山火事予防運動実施中！（2 月～5 月）
 - ウェルビーイング実践校 TOCO-TON スタートアップイベント

主に市町村・団体向け

「私のアクション！未来の NAGANO 創造県民会議」への参加について

（企画振興部総合政策課）

◎相手方：県民会議に未参加の関係団体や市町村等

◎内容：

人口減少に立ち向かい 2050 年のありたい長野県の姿を目指し、2024 年 12 月に産官学金労言及び個人県民によるフラットな会議体である県民会議を設立
県民会議として策定した「信州未来共創戦略」の推進・実現に向け、共に行動（アクション）をする仲間を募集中。

◎コメント案：

- ・R6 年 12 月にオール信州で人口減少課題に立ち向かうためのプラットフォームである「私のアクション！未来の NAGANO 創造県民会議」を立ち上げ、現在、共に行動（アクション）をする仲間（県民会議の会員）を募集中。
- ・県民会議では、人口減少の事実を学んだり、会員同士が共創により主体的な活動ができるような支援を行っており、ぜひ、会員になっていただき、活動の輪に加わっていただきたい。

みずずハイウェイの利用促進について（交通政策局交通政策課）

◎相手方：市町村、経済団体、一般県民等

◎内容：

県内南北をつなぐ幹線となることから、特に南信州地域の県民に対して、みずずハイウェイバスの利用を呼び掛けて欲しい。

◎コメント案：

- ・みずずハイウェイバスは、南信州から長野をつなぐ高速バスであり、リニア中央新幹線も見据えて確保していく路線。
- ・コロナ前は年間 80,000 人ほどの利用があったが、コロナ禍で減便して以来、臨時増便をしているものの利用者が回復していない。
- ・令和 8 年 4 月からは昼間の便で特急便を運行し、飯田市内から長野市内まで 3 時間以内で結ぶ。是非利用をしていただきたい。
- ・また、路線の課題があれば幅広くご意見を伺いたい。

公共交通キャッシュレス利用の促進について（交通系 IC カードほか）

（交通政策局交通政策課）

◎相手方：市町村、経済団体、一般県民等

◎内容：

4 月 1 日から地域連携 IC カードが長野地域から松本地域等にも拡大することから、特に若者、観光客（観光事業者）、高齢者に利用を呼び掛けて欲しい。

◎コメント案：

- ・4 月 1 日から一部のバス路線で使用できるキャッシュレス決済手段である地域連携 IC カード（Suica 機能付き）が長野地域から松本地域等に広がる。
- ・利便性が高まることから是非ご利用をいただきたい。
- ・なお、列車においても JR 東日本エリアでは Suica が使える駅が増えるとともに、しなの鉄道でも 3 月 14 日より全駅で Suica が導入される。また、今後長野電鉄やアルピコ交通上高地線でも導入が予定されている。
- ・引き続き県としてシームレスで公共交通機関を利用でき、買物もできる交通系 IC カードをはじめとしたキャッシュレスを推進していきたいと思っておりますので、より便利に公共交通機関をご利用いただきたい。

長野県 150 周年記念事業への連携促進（ロゴ利用、記念事業実施の働きかけ）

（県民文化部県民政策課）

◎相手方：市町村、企業、団体

◎内容：

記念事業は、県民一人ひとりが、150 周年の歴史の中で築かれてきた価値や魅力を再発見し、一体感を持って共に長野県の未来を思い描き、新しい行動を起こす機会とするもの。記念事業のコンセプトに沿って、県の一体感の醸成、県の魅力や価値の向上につながる事業を、関連事業として積極的に実施してほしい。

◎コメント案：

- ・長野県 150 周年にあたり「自らを知り 互いを知り 高め合おう「私たちの長野県」」というコンセプトを掲げ各種記念事業を展開。
- ・現在、県歌「信濃の国」をテーマにした投稿キャンペーンを実施中。（～6/10）

- ・GWからは全市町村を対象としたスタンプラリー、8月には記念式典を実施予定。
- ・市町村や民間の皆さまとの連携も積極的に推進し、共に長野県の価値向上、県民の一体感の醸成に繋げていきたい。
- ・そのため、記念ロゴ、動画、のぼり旗などのPRツールを活用した事業周知、連携事業の実施をぜひ検討いただきたい。

SOBA Tech NAGANO の開催について（産業労働部経営・創業支援課）

◎相手方：市町村、県内企業、経済関係団体等

◎内容：

県内初の全国からスタートアップ・支援者を集めるイベントを信濃町・長野市で4月24・25日に初開催。県内外から長野県で連携したいスタートアップ関係者が集まる。県でもスタートアップに力を入れており、全県で盛り上げていきたい。

◎コメント案：

- ・ただ今イベント参加者を募集中。一般参加は無料のほか、信濃町会場へは長野市からの無料送迎バスも手配している。県内外のスタートアップと直接コミュニケーションをとれる機会となるので、貴団体や所属の企業へ、ぜひ機会を捉えて参加を周知してほしい。申込は専用ウェブサイトから。<https://sobatech.jp/>

10年後の農地の在り方を明確化する「地域計画」のブラッシュアップ及び実現に向けた取組について（農政部農村振興課）

◎相手方：市町村、農業者、農地所有者等

◎内容：

「地域計画」は、10年後の農地の在り方を明確化する計画として、令和7年3月までに全市町村が策定した。（地域計画によると10年後の担い手が明確になっていない農地が県全体で約35%に及ぶ）

地域計画の実現、ブラッシュアップに向け、引き続き地域での話し合いを積極的に実施（参加してほしい）。

県では、地域振興局ごとに現地支援チーム（窓口：農業農村支援センター農業農村振興課）を設置しているので、必要に応じて相談してほしい。

◎コメント案：

- ・地域計画は10年後の農地の将来像を示すもので、令和7年3月までに全市町村が策定したが、担い手が明確になっていない農地が県全体の約35%ある。
- ・計画実現やブラッシュアップに向けて引き続き地域での話し合いを実施していただき、必要に応じて県地域振興局の現地支援チームへ相談を。

長野県農村生活マイスター認定申請者の推薦について（農政部農村振興課）

◎相手方：市町村

◎内容：

平成4年度から、農業経営や農家生活の向上に意欲的に取り組む女性農業者等を、知事が「農村生活マイスター」として認定し、令和7年度末時点で累計1,227名を認定。「第4期長野県食と農業農村振興計画」の女性活躍に関するアクションプランの中で、地域の推進役として位置づけ。（成果目標：15名/年）

認定申請については、地域推薦（市町村長意見）が必要。引き続き候補者の掘り起こし及び推薦をお願いしたい。（申請募集時期：年1回（4月頃又は7月頃））

◎コメント案：

- ・平成4年から女性農業者らを農村生活マイスターとして知事が認定
- ・申請には市町村長の推薦が必要。今後も候補者の発掘と推薦をお願いしたい。詳しくは各農業農村支援センターへご相談を。

農福連携の取組についての啓発（農政部農村振興課）

◎相手方：市町村、農業者

◎内容：

農福連携は、農業の人手不足解消と障がい者の就労機会創出を同時に実現する取組。県は専任のコーディネーターやサポーター派遣などの支援体制を整備し、農業と福祉の相互理解を進めている。農福連携「ノウフク」の認知度向上のため、HPやSNS等による情報発信やPRイベントなどを開催。興味のある方はぜひ県HPをご覧ください。

◎コメント案：

- ・農福連携は農業の人手不足解消と障がい者の就労機会創出を図る取組で、県としても専任コーディネーターを配置するなど支援体制を整備。
- ・農福連携「ノウフク」の認知度向上のため、HPやSNS等でPRも進めておりますので、関心のある方は県HPを参照してください。

主に企業向け

企業版ふるさと納税について（企画振興部総合政策課）

◎相手方：県外に本社がある企業

◎内容：

企業版ふるさと納税の活用による本県への寄附依頼

◎コメント案：

- ・長野県の地方創生の取組に賛同いただける場合は、企業版ふるさと納税を活用した寄附を検討いただきたい。（企業のメリット：最大9割まで税額控除、地域貢献企業として企業ブランドの向上・社会的信頼の獲得が期待）

「ガチなが」のPR（総務部税務課）

◎相手方：県内経営者、高校同窓会、県外住民、県外企業・県人会等

◎内容：

ガチながの想い・コンセプトやプロジェクトの一例、寄付のお願い等

◎コメント案：

- ・県直営の「共創型」ふるさと納税受付サイト『ガチなが』は、“生まれ育ったふるさとや応援したい地域に貢献したい”という、ふるさと納税制度本来の趣旨に立ち返った寄付
- ・返礼品を設けず、寄付金の「使い道」で選んでいただく仕組みとして、「県の特徴ある学びを応援したい」や「ライチョウの保護に協力したい」など、県が取り組む各種プロジェクトへの寄付を募集しています。
- ・「ガチ（本気）で長野県を良くしたい」という皆さまの熱い思いにお応えできるよう、これからも県としてしっかりと取り組んでまいります。多くの皆さまからの温かいご支援を、心よりお願い申し上げます。

県公式LINE「事業者サポート」への受信設定について（産業労働部産業政策課）

◎相手方：市町村、県内企業、経済関係団体等

◎内容：

事業者に向けた産業労働部の支援策を県の公式LINEで発信。令和8年2月時点で登録者数は約4,000名。長野県公式LINEに友達追加後、受信設定で「事業者サポート」へのチェックをお願いしたい。

◎コメント案：

- ・長野県公式LINEで事業者向けに補助金やセミナー情報の発信を行っている。県公式LINEをともだち追加後に、受信設定で「事業者サポート」へのチェックをいただきたい。

信州やまなみ国スポ・全障スポの募金・企業協賛の募集について

（国スポ・全障スポ大会局総務企画課）

◎相手方：企業、団体、個人

◎内容：

募金・企業協賛を令和8年4月に開始。県民の皆様と共に大会を創りあげていきたい。募金・企業協賛を通して、多くの皆様に参加していただきたい。

◎コメント案：

- ・現在、寄附・企業協賛を募集している。地域の皆様と大会を共に創ってまいりたいので、多くの方に「募金」、「企業協賛」へ御参加いただきたい。
- ・ぜひ、貴団体でも機会をとらえて周知をお願いしたい。

松本平広域公園陸上競技場のネーミングライツパートナーの募集について

（建設部都市・まちづくり課）

◎相手方：法人

◎内容：

松本平広域公園陸上競技場は、令和10年開催の国スポの開会式及び競技会場。ネーミングライツを通じて企業のイメージ向上につながる。応募を。

◎コメント案：

- ・令和8年9月26日オープン予定の松本平広域公園陸上競技場のパートナーを募集中。
- ・貴団体（御社）でもご活用いただけるので、是非とも応募していただきたい。

主に県民向け

3月は「自殺対策強化月間」（健康福祉部疾病・感染症対策課）

◎相手方：県民

◎内容：

3月は、「自殺対策強化月間」。「誰も自殺に追い込まれることのない信州」の実現に向けて、県内保健所で相談体制を拡充し、弁護士と保健師に相談ができる「くらしと健康の相談会」を開催。あわせて駅前などで街頭啓発を行い、相談窓口やゲートキーパーの取組を周知。

◎コメント案：

- ・県では、多職種の専門家による「子どもの自殺危機対応チーム」の設置や発見できるITツール「RAMPS」の学校への導入などで、子どもの自殺予防の取組を拡大

- ・県の20歳未満の自殺死亡率は令和6年は改善したものの、全ての世代の自殺予防を呼び掛けるため、「自殺対策強化月間」の3月に集中的に普及啓発を実施
- ・ストレスや不安は誰にでもあり、ひとりで抱え込まず誰かに相談することが大切。周りの方が「いつもと違う」と感じた時には、ぜひ声をかけてみてほしい。
- ・啓発事業と合わせて、相談会を開催しているので気軽に相談いただきたい。

春の山火事予防運動実施中！（2月～5月）（林務部森林づくり推進課）

◎相手方：県民

◎内容：

2月1日から5月31日まで「春の山火事予防運動」を実施中。この季節は空気が乾燥し強風の日も多いことから、林野火災が多発しており注意が必要。山火事予防運動へのご協力を！

◎コメント案：

- ・5月31日まで「春の山火事予防運動」実施中。
- ・空気が乾燥するこの時期、燃え広がるおそれのある場所では火をつけない、強風時・乾燥時には、たき火や火入れをしないなど注意が必要。
- ・今年から、乾燥や強風等で火災発生の危険が高い場合には、林野火災注意報や林野火災警報を発令。注意報・警報が発令されたら屋外での火の使用の中止を。

ウェルビーイング実践校 TOCO-TON スタートアップイベント

（教育委員会学びの改革支援課）

◎相手方：教育関係者、県民

◎内容：

日本の学びの「新しい当たり前」を信州から創るために学校の仕組み改革に取り組んでいる。3月25日県庁講堂で行うイベントには阿部知事が参加し、今後の学校改革への期待を語る。当日は現在制作中の TOCO-TON の PR 動画を上映予定。

◎コメント案：

- ・長野県教育委員会では学びの「新しい当たり前」を信州から創ろうと学校改革に取り組んでいる。
- ・3月25日に県庁講堂で阿部知事参加の「ウェルビーイング実践校 TOCO-TON スタートアップイベント」を開催するので、興味あれば参加してほしい。